

大阪市立市岡東中学校

元気アップ便り

元気アップコーディネーター 千葉清二

こんにちは。最近は秋雨前線と台風の影響で雨が多いですね。（また、台風が上陸しそうですが。）そして、9月はとても暑かったと思いますが、さすがに朝晩は本格的な秋の気配が感じられる今日この頃ですね。

「秋来ぬと目にはさやかに見えねども 風の音にぞおどろかれぬる」

有名な藤原敏行の歌です。藤原敏行は、百人一首の「すみの江の岸による浪よるさえや 夢のかよひぢ人目よくらむ」が有名です。百人一首大会では「7枚札」の1つとして覚えたものです。（ご存じとは思いますが、7枚札とは最初の文字が、例えばこの場合は「す」ですが、「す」で始まる句は他にないので、「す」と聞いたらすぐに取れるもので、他は「む」「め」「ふ」「さ」「ほ」「せ」があります。「娘ふさ干せ」とごろ合わせで覚えたものです。）しかし、私は秋の歌としては山上憶良の「萩の花 尾花葛花 ナデシコの花 オミナエシ またフジバカマ 朝顔の花」（万葉集 巻八）が好きです。ちなみに、尾花はススキ、ナデシコはナデシコ属の総称でナデシコという花はありません。ここはカワラナデシコのことでしょう。また、朝顔は現在のキキョウのことです。フジバカマは、最近では野生のものはなかなか見られなくなりました。しかし、五七七、五七七の旋頭歌として、うまく秋の七草として詠んだものです。日本人がいかに古くから、花に親しんだかが伺えますね。

短歌や俳句など本当に日本の文化としてすばらしく、世界に誇れるものです。中学校の国語でも「俳句」などを学習し、また「俳句」を作ってみることもあるようです。テレビ番組でも芸能人が自作の俳句を批評してもらうものがあり、ときどきですが、楽しんで見えています。しかし、とても奥が深く難しいですね。私は、そんな形式ばった、高尚なものでない「川柳」が好きです。「サラリーマン川柳」などがよく紹介されますが、とてもウイットに富んでおもしろいですね。それでは私も一句。卒業生が夏休みなどに、中学校に遊びに来ますが、とても厚化粧で驚きます。若いピチピチしたお肌には化粧など不要と思うのですが・・・。「ジカ熱も 対策いらず 厚化粧」

さて、10月は体育大会の練習などで多忙とは思いますが、日ごろの学習は手を抜かないようにしなければなりません。とくに3年生は6日の統一テストや中間テストなど10月だけで、3回もテストがあります。すでに学習会の予定は配布してありますが、テストに合わせて学習会を実施していますので、どしどし参加してください。